

①変化の時代をリードする女性人材育成強化事業

②女性の「はたらく」応援事業

【福岡県】

地域の実情と課題

- ①新型コロナウイルスを契機とした新しい働き方・ビジネスモデルの変革に併せて、ポストコロナの変化の時代を担っていきける女性人材を育成し、あらゆる階層において女性人材の裾野を広げることで、女性役員や女性管理職比率を向上する必要がある。
- ②近年働く女性が増えているが、その多くが非正規雇用である。賃金格差についても依然として女性の賃金は低く、非正規から正規職員への転換も厳しい状況にある。しかし、利用できる行政の支援は少なく、支援の情報が届きにくい現状がある。

事業の特徴

- ①変化の時代をリードする女性人材育成強化事業
 - 3階層に分けた人材育成／課長相当・係長相当・若手
 - 県内女性社長・リーダーなどによるメンター制度
 - 自社の経営層・上司参加型の研修を実施し、企業内の組織風改革を推進
 - 上司と双方向で考える提案の作成
- ②仕事や生活に不安や悩みを抱える女性を対象に、不安解消や今後のライフプラン、仕事に活かせるスキルを学ぶ講座をオンラインで実施。グループワーク等において受講者間で意見交換する場を設けるとともに、就労支援機関との連携により具体的な就労支援につなげる。

事業の効果

- ①・受講者のアンケート結果から「期待度」「理解度」「有用度」のいずれも95%以上
 - ・本人の成長度96.8%、上司からみた部下の成長度は100%と高評価
 - ・受講後、昇進、企業内の主要部署への移動、管理職候補になるなどポジティブな変化が見られる
- ②受講者の9割以上が今後の仕事や生活に役立ったとの回答もあり、受講者の満足度は高かった。受講者の7割以上が正規雇用に向けた活動について前向きに考えられるようになったなど、仕事に対する意欲向上、正規雇用への転換を促すことができた。

目的・目標

- ①新型コロナを契機とした新しい働き方・ビジネスモデルの変革に合わせて、中小企業における女性人材育成を重点的に取組み、県内における女性活躍を加速する。
- ②様々な働き方の中で女性がいきいきと活躍でき、安心して暮らせる社会を目指すとともに、講座を受講することにより仕事に対する意欲向上や正規雇用への転換を目指す。

連携団体

- ①福岡県女性の活躍応援協議会
福岡県、福岡労働局、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県経営者協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、福岡県中小企業家同友会、福岡県中小企業経営者協会連合会、福岡県農業協同組合中央会、日本労働組合総連合会福岡県連合会
(九州経済産業局、福岡県信用金庫協会、福岡県建設業協会、福岡県情報サービス産業協会、福岡県機械金属工業連合会、福岡県トラック協会、福岡県中小企業診断士協会、福岡県社会保険労務士会)※（）は実務者会議のみ
- ②「女性の『はたらく』応援講座実施業務」委託事業候補者選定委員会
学識経験者（大学教授）、女性団体、福岡県福祉労働部、福岡県人づくり・県民生活部

今後の課題

- ①リアル開催の一部導入、メンター制度の再設計が必要
- ②オンラインで実施する場合に、受講者が、受講者同士や講師等と十分な意見交換、交流が図れるよう、時間配分や対話を促すための進め方の工夫が必要。また、家庭環境の理由による悩みは講座受講のみで解決することは難しいため、支援機関の更なる周知、活用を促す必要がある。

①変化の時代をリードする女性人材育成強化事業

新型コロナを契機とした新しい働き方・ビジネスモデルの変革にあわせて、エネルギーやDXなどの新しい経営課題や組織マネジメント・部下育成といった実践的なスキルとマインドを学ぶ総合的な人材育成プログラム



<特徴>

- 成長課題に応じた階層別人材育成プログラム
- 県内女性社長・リーダーによるメンター制導入
- 自社の経営者・上司参加型講座を導入
- 職場の課題解決にチャレンジする提案作成

<アンケート結果より>

本人の成長度 **96.8%**

上司の成長実感度 **100%**

- ・提案が会社や所属で採用され、次期目標となった
- ・昇進や経営部署に異動となった
- ・管理職を目指してみるよう上司に薦められた等

②女性の「はたらく」応援事業

<女性の「はたらく」応援講座>

- オンライン、全4講座
- 仕事や生活に不安や悩みを抱える女性を対象に、今後のライフプラン、仕事に活かせるスキルを学ぶ講座をオンラインで実施。
- グループワーク等において受講者間で意見交換する場を設けるとともに、就労支援機関との連携により具体的な就労支援へとつなげる。



③ アンコンシャス・バイアスの認知と理解に向けた普及・啓発 【福岡県】

④ 企業への専門家派遣 ⑤ 運輸業における女性活躍推進のための活動支援

⑥ 地域における女性活躍推進

地域の実情と課題

- ③ アンコンシャス・バイアスへの認知と理解を促すためには、県民へ幅広く啓発するとともに、人々の意識形成に影響力を持ち、身近な情報発信源であるメディアと、企業のコンサルティングを実施する立場である福岡県中小企業診断士協会と連携・協力することが必要。
- ④ 企業では女性活躍に取り組む意思はあっても「ノウハウ・事例・体制不足」等が課題のため、企業等の取組が着実に実施されるよう、支援する必要がある。
- ⑤ 本県における運輸業界について、産業別にみた従業員数の構成比は6.1%であり、そのうち女性の割合は、17.4%にとどまる。
- ⑥ 近年、県内で豪雨災害をはじめとする大規模災害が頻発する中、自治会など地域コミュニティにおける共助の重要性が高まっている。また、新型コロナウイルス感染症による社会の変容に対応した多様な視点が、地域コミュニティに求められている。
県内の自治会の役員の多くは男性であり、また、審議会に占める女性委員も32.9%と女性の参画が進んでいない状況。県ではこれまで、地域の女性リーダー育成事業に取り組んできたが、市町村における人材の活用が進んでいない状況。

事業の特徴

- ③ 報道機関を対象に、アンコンシャス・バイアス勉強会を実施し、女性活躍やアンコンシャス・バイアスなどに焦点を当て記事化・番組化するなどキャンペーンへと促す。中小企業診断士を対象に、アンコンシャス・バイアス勉強会を実施し、中小企業診断士協会内の女性活躍を進めるとともに、その成果を企業コンサルティングへ活かす。
- ④ 企業等に対し、個別に専門家を派遣し、女性活躍に関する課題分析から目標設定や取組実施の方法等を実情に応じて支援する。
- ⑤ トラック運送業界のイメージアップキャンペーンを実施。
高校生と連携した女性トラックドライバーユニホームデザイン・製作、短編ムービー配信。
- ⑥ 自治会の役員や地域コミュニティのリーダー、地域防災の担い手となる男女を対象に、災害時はもとより平常時においても多様な視点で地域防災・復興に対応できる人材を育成するとともに、地域コミュニティの男女共同参画に資する講義・ワークを実施。また、市町村や男女センターの職員を対象に、女性人材活用力向上をはかる研修を実施。

目的・目標

- ③ 企業における女性活躍の取組みが着実に実施されるよう支援を行うとともに、アンコンシャス・バイアスに関する認知と理解を広め、女性をはじめとした誰もが活躍できる企業風土へ変革する。
- ④ 女性活躍推進について課題を抱える企業が少なくない中、福岡県女性の活躍応援協議会の構成団体と連携して、企業等における取組が着実に実施されるようきめ細かく支援することで、女性の活躍を推進する。
- ⑤ 運輸業界で働く女性の視点を活かした取組を支援することで、働きがいのある職場づくりとイメージアップを図り、意欲を持つ入職女性を増やす。
- ⑥ 自治会の役員や地域コミュニティのリーダー、地域防災の担い手となる男女を対象に、災害時はもとより平常時においても多様な視点で地域防災・復興に対応できる人材を育成する。あわせて、上記事業などを受講した女性人材が、政策・意思決定の場へ参画が進むよう、市町村や男女センターの職員を対象に、女性人材活用力の向上を図る。

連携団体

福岡県女性の活躍応援協議会
福岡県、福岡労働局、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県経営者協会、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、福岡県中小企業家同友会、福岡県中小企業経営者協会連合会、福岡県農業協同組合中央会、日本労働組合総連合会福岡県連合会
(九州経済産業局、福岡県信用金庫協会、福岡県建設業協会、福岡県情報サービス産業協会、福岡県機械金属工業連合会、福岡県中小企業診断士協会、福岡県社会保険労務士会) ※ () は実務者会議のみ

事業の効果

- ③参加があったテレビ局ではジェンダーに関する番組や特集が生まれ、新聞にも記名記事が掲載されるなど幅広い情報発信が実施された。また、中小企業診断士協会内で、企業活性化のためとアンコンシャス・バイアスに関する研究・セミナーを開催するなど、アンコンシャスバイアスの認知と理解の促進を図っている。
- ④専門家の支援により、一般事業主行動計画の策定や、女性活躍に向けた研修、えるばし取得など企業の具体的な取組・成果につなげることができ、一定の成果を得ている。
- ⑤ムービーの視聴回数は、5,144回（R4.3.30現在）となり、女性ドライバーのイメージ定着に繋がっている。
- ⑥男女共同参画の視点を持った災害対応人材育成事業においては、いずれの講義・ワークでも、「満足」以上を回答した割合が高く、参加者のニーズに即した内容であったとともに、新たな学びを提供できたといえる。地域政策・意思決定女性参画促進事業においては、いずれの講義でも、参加者の約9割が「理解できた」と答えていることから、参加者の女性人材活用力の向上に繋がったといえる。

今後の課題

- ③アンコンシャスバイアスの認知度は低いいため、あらゆる機会を捉えてアンコンシャス・バイアスの認知と理解を広げることが必要
- ④一般事業主行動計画の策定・届出義務企業は拡大するにあたり、届け出るだけでなく、対象企業において女性活躍が実質的に進むよう支援する必要がある。
- ⑤トラック運送業界における女性の就業・定着に向けた業界全体をイメージアップする必要がある。
- ⑥男女共同参画の視点を持った災害対応人材育成事業においては理解度は高かった一方で、具体的に地域でどのように活動したらいいのか聞きたいとの声があったため、参加者が実際に地域に落とし込めるような講義内容を検討する必要がある。
地域の政策・意思決定女性参画促進事業においては、参加人数が募集の半数を超えていないため、参加対象者のニーズを踏まえた講義内容にするとともに、周知・広報にさらに力を入れる必要がある。

事業の概要

③ アンコンシャスバイアスの認知と理解に向けた普及・啓発

< 報道機関向け勉強会の開催 >

第1回「スポーツ×アンコンシャス・バイアス」

第2回「D & I × アンコンシャス・バイアス × 組織運営」

< 中小企業診断士向け勉強会の開催 >

テーマ「中小企業診断士のための実践講座“無意識の思い込み”への気づきによる組織活性化」



④ 企業への専門家派遣

< 企業への個別支援 >

企業に対して個別に社会保険労務士等の専門家を派遣し、女性活躍の観点から企業の取組を支援

○派遣先企業数： 38社

○支援内容：

- ・一般事業主行動計画の策定支援
- ・採用、人材育成計画の作成、就業規則の整備
- ・企業内セミナーの開催、えるぼし獲得への支援など



⑤ 運輸業における女性活躍推進のための活動支援

< トラック運送業界イメージアップキャンペーン >

○高校生による女性トラックドライバーユニホーム製作
短編ムービーの配信

○経営者向け意識変革のための冊子作成・配付

○求職中女性及び高校生向けポスターの作成・配付



* 女性トラックドライバー応援ムービー全国配信 *



* 入職促進啓発ポスター *

